「信州発・これからの図書館フォーラム」

令和8年度第2回

募集定員 80名

参加費 無料

地域の読書環境を
もっと豊かに！

読者×書店×図書館×∞ #2

12/13(日)

13:30 ～ 16:30

松本市立博物館

本との出会いが多様化する中、地域の読書環境を豊かにするため、書店や図書館、出版社などが連携した取り組みが各地で進められています。

本フォーラムでは、NPO法人本の学校の活動や、松本市の書店エリア形成、須坂市の「信州須坂どこでも図書館」などの事例を通して、本と人をつなぐ仕組みやこれからの地域づくりを考えます。

本を愛する皆さまのご参加をお待ちしています。

登壇者



事例報告 1　13:40～14:40
「本の学校から見た図書館と地域読書環境」

NPO法人 本の学校 理事/鳥取県立図書館

小林隆志氏

文部科学省図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議委員、認定NPO法人本の学校理事、ビジネス支援図書館推進協議会副理事長。2021～2023年度まで鳥取県立図書館長を務めた。



事例報告 2　14:40～15:10
「広義の読書環境としての街並み」

books 電線の鳥

原山聡矢氏

松本市城東の一本入った裏通りにある 玄関土間と八畳だけの小さな古本屋「books 電線の鳥」店主。印刷会社、 法律事務所勤務を経て 2017 年同店を開業。



事例報告 3　15:10～15:40
「本と出会い＆本をまわすしくみづくり：須坂市の取り組み」

市立須坂図書館 館長

文平玲子氏

元「ポプラ社」編集者。翻訳家。2014年から市立須坂図書館長を務める。「信州須坂どこでも図書館」と連動した様々な取り組みを展開している。

お問合せ
お申込み

県立長野図書館
担当:総務企画課企画係

026-228-4939

naganotoshokan-kikaku@pref.nagano.lg.jp

フォームでお申込みください。
申込期限：2026年12月9日(水)